

第10回 退院支援・医療介護連携部会報告書

日 時	平成31年1月17日(木) 19:00~20:20			
場 所	高松市医師会館 2階大会議室			
出席者	■ 吉澤委員長 ■ 松本部長 □ 青木委員 ■ 片山委員 ■ 林委員 □ 多田委員 ■ 田中委員 ■ 辻委員 ■ 永岡委員 ■ 坂東委員 ■ 古川委員 ■ 三宅委員 ■ 和田委員	11名		
事務局	高松市医師会事務局 山地氏、真鍋氏 高松市地域包括支援センター 秋山補佐 長寿福祉課 地域包括ケア推進室 徳重室長、香川室長補佐、長樂 在宅医療支援センター 後藤			7名
議 題	1 平成30年度 第4回医療介護連携ミーティングの開催について 2 入退院支援ルールの作成について			
結 果	<p>平成30年度 第3回医療介護連携ミーティングノアンケート結果について</p> <p>◆アンケート結果について報告(詳細は、別紙報告のとおり) (参加者 108人 回答81人 回答率75%) アンケートの回答にもあるが、本当にすごく印象に残った研修会であった。 理学療法士の立場としては、障害年金は弱い部分なので大変勉強になった。 お金のことについてはタブー的な感じもあるが、生活しながら治療しなければならないので、支援をしていく上では大事なことであり、発表させてもらって良かった。</p> <p>◆癌教育について 平成32年から癌教育が中学のカリキュラムに組み込まれるようになった。 全国的に遅れていた香川県の癌教育を、平成23年11月から県が取り組み、現在は先進県となっている。 家族や子供本人が闘病中の場合は、保護者の許可をもらうというようなルール作りも行っている。 癌教育を受けた子供が、親に対して検診をすすめるような反対側からの啓発や、高校生に対しては、癌医療に携わる仕事があることを教えることで人材開発をする等、色々な方法で教育に力を入れている。</p> <p>1 平成30年度 第4回医療介護連携ミーティングの開催について</p> <p>◆第4回医療介護連携ミーティングの事例検討 慢性疾患や臓器不全、透析の患者さんなど、癌以外の事例を取上げる。 薬剤師としては、鎮静について興味がある。 透析については、透析医学会が中断するガイドラインの中に末期癌が見つかった場合というのが入っているが、透析を続けるのか、続けないのかのジレンマになった例もある。 三宅先生 3例 ・右小細胞肺癌腹膜転移・慢性心不全ターミナル期・多発性脳梗塞 田中委員 1例 ・慢性腎不全 腹膜透析 古川委員 1例 ・右大腿骨骨折後動脈塞栓症 以上の5症例を事例とする。</p>			

◆役割分担

進行は三宅先生

会場も広いため、委員の皆様には、ファシリテーターをお願いする。

詳細については、次回の部会で調整する。

◆案内文は、今週中に発送する。

2 入退院支援ルールの作成について

◆情報共有の内容

◆ACPに関する情報共有

◆考慮したいこと

などの項目を表記、追加があれば言ってもらいたい。

最近、ACPについては、救急搬送の際に、それが本当に患者の希望か、そうではないのかという、意思決定を入れてほしいという意見がたくさんある。

人の意向は変わるので、時系列でその時の意向がわかるような形をACPIに組みこめると良い。

その他

1月24日、25日開催の第27回全国救急隊員シンポジウムの情報提供

1月27日在宅医療コーディネーター研修会開催について

2月16日の高知市の市民公開講座への参加について

次回開催について

次回の第11回は、2月21日(木)の開催

2月24日が、第4回医療介護連携ミーティングなので、最終調整とする。